

無人航空機 高濃度少量散布適用

農林水産省登録  
第22101号



北海道専用 殺虫剤

# ダントツ<sup>®</sup> EX プロابل

稲の「収穫7日前」まで  
使用可能!

アカヒゲホソミドリカスミカメ等  
厄介なカメムシ類・ウンカ類の防除に

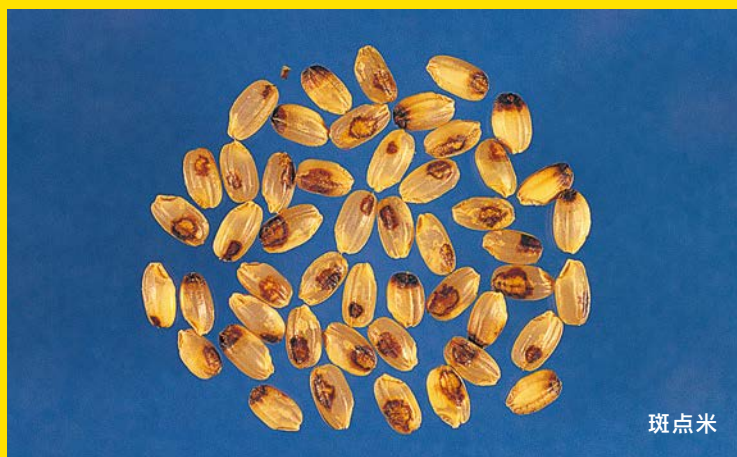
無人航空機

36倍 (0.8ℓ / 10a)  
散布で経済性が向上!!

高濃度少量散布 1250倍  
(25ℓ / 10a) にも適用!!



アカヒゲホソミドリカスミカメ



斑点米

無人航空機  
高濃度少量散布適用

# ダントツEXフロアブル

●規格:500ml×20本/ケース、5ℓ×3本/ケース

## 無人航空機36倍登録で経済性向上

[有効成分]クロチアニジン…20.0% [人畜毒性]普通物(毒性及び劇物に該当しないものを指していう通称)

特長

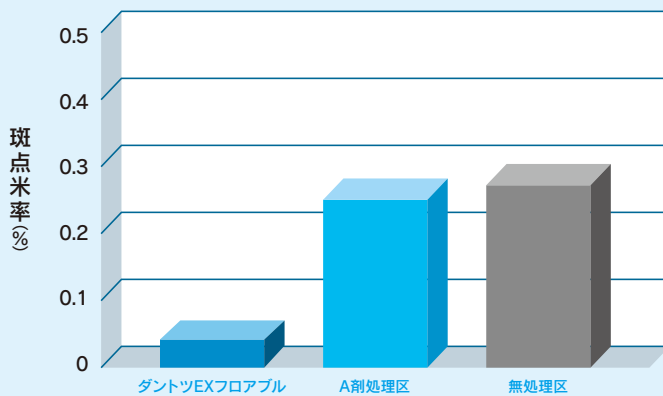
- 優れた速効性と残効性を有します。
- 無人航空機36倍でのアカヒゲホソミドリカスミカメへのご使用は従来より低薬量で経済性が向上しています。
- 高濃度少量散布にも適用があり、登録内容が充実しています。

### ●適用病害虫及び使用方法

令和4年3月現在

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数	
稲	・イナゴ類 ・ウンカ類 ・ツマグロヨコバイ ・カメムシ類 ・イネドロオムシ	5000倍	60~150ℓ/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	4回以内 (直播での播種時または移植時までの処理は1回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回以内)	
	・ウンカ類 ・カメムシ類	1250倍	25ℓ/10a					空中散布
	・ツマグロヨコバイ	90倍	3ℓ/10a					
	・ウンカ類 ・カメムシ類 (アカヒゲホソミドリカスミカメを除く)	24倍	800ml/10a			無人航空機による散布		
	・アカヒゲホソミドリカスミカメ	24~36倍						
	・イネドロオムシ	36倍						
直播水稻	・イネシロムシ	原液	種もみ3kg当り 75ml/10a	は種前	1回	塗抹処理	4回以内 (は種時までの処理は1回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回以内)	
	・イネドロオムシ		種もみ8~10kg当り 75ml/10a					
だいず	・アブラムシ類 ・カメムシ類 ・フタシメハムシ	2500~5000倍	100~300ℓ/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	4回以内 (は種時の土壌混和は1回以内、散布は3回以内)	
	・マメシクイガ ・アズキタマエ	2500倍	800ml/10a					無人航空機による散布
	・アブラムシ類 ・カメムシ類	24倍						
ばれいしょ	・アブラムシ類	5000倍	100~300ℓ/10a			散布	4回以内 (播付時の土壌混和は1回以内、播付後は3回以内)	

### ●カメムシ類に対する防除効果 平成17年(社)岩手県植物防疫協会



品種 ひとめぼれ(移植 5月16日) 発生状況 多発生(アカヒゲホソミドリカスミカメ、アカスジカスミカメ) 散布方法 8月11日及び18日の2回、ダントツEXフロアブル 36倍(8ℓ/ha)を無人ヘリで散布 使用機種 ヤマハRMAX 調査方法 収穫期に任意に3箇所より各10株刈り取り、脱穀・調整後精玄米、くず米別に斑点米の混入数を調査

### ●混用して問題のなかった事例のある薬剤 (無人航空機散布)

下記薬剤と混用しても、物理性上問題がありませんでした。

アミスターエイト	ブラシンゾル
カスミン液剤	モンカットフロアブル
スミチオン乳剤	モンカットラサイド20フロアブル
ビームエイトゾル	ラブサイドフロアブル
ビームゾル	

### ▲使用上の注意事項

●使用量に合わせ薬液を調整し、使いきる。●本剤は長期間貯蔵しておくことと分離するので、使用の際は容器をよく振って均一な状態に戻してから所定量を取り出す。●稲に1250倍希釈で使用の場合は、所定量を均一に散布できる乗用型地上液剤少量散布装置を使用。●塗抹処理で使用する場合は、薬剤処理後にもみに過酸化カルシウム剤を湿粉衣すること。過酸化カルシウム剤の使用上の注意事項を守ること。●蜜に対して影響があるので、蜜に付着するおそれのある地域では使用しないこと。●ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。①ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないこと。②関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。●マルハナバチに影響を及ぼすおそれがあるので注意すること。●本剤を空中散布及び無人航空機散布による散布に使用する場合は次の注意を守ること。①各散布機種の散布基準に従って実施すること。②少量散布の場合は、微量散布装置以外の散布器具は使用しないこと。③無人航空機による散布にあたっては散布機種に適合した散布装置を使用すること。④散布中、薬液が漏れないように機体の散布用配管その他散

布装置の十分な点検を行うこと。⑤散布薬液の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等に影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意すること。⑥水源地、飲料用水等に本剤が飛散流入しないように十分注意すること。⑦作業終了後は次の項目を守ること。(a)使用後の空の容器は放置せず安全な場所に廃棄すること。(b)機体散布装置は十分洗浄し薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理すること。●本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましい。

### ▲安全使用上の注意

●本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗すること。

### ▲魚毒性

●使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使い切ること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

■使用前にはラベルをよく読んでください。 ■ラベルの記載以外には使用しないでください。 ■小児の手の届くところには置かないでください。 ■空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

